

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		須屋線交通安全施設整備事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名 上原 哲也					
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	建設課	担当者名 塩崎 史					
	基本事業	10	交通安全施設の整備			所属班	工務班	(内線) 2277					
予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	3	事業連番	10048	法令根拠	成果優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (17 ~ 23 年度)		単年度繰返(開始年度 年度)			コスト削減優先度評価結果				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	国道387号と市道須屋陣の平線を結ぶ幹線の役割を果たす市道L=1,000mの歩道設置、拡幅、舗装をおこなう交通安全事業である。 市道須屋線は、道路幅員は狭く、歩道は未整備の為、朝の通学時間帯は小中学生の通行が非常に危険である。 地元要望により必要性を検討した結果、平成18年度から事業開始となった。 変化は見られない。
【業務の流れ】	17年度①地域より要望を受け、②現況状況の把握により必要性を検討、③地元説明会を開催し要望を再確認 18年度～④補助事業採択申請、⑤測量設計業務、関係機関との協議、⑥補助事業竣工確認検査 19年度～⑦用地買収、⑧道路改良工事、及び検査等 23年度に全線完成の予定
【主な予算費目】	委託費(測量設計、鑑定業務等)・公有財産購入費(用地取得費)・補償費・工事費・事務費(消耗品費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域住民並びに道路利用者からの道路拡幅及び歩道設置の要望がある

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
関係機関との協議、用地交渉、道路改良工事	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ ア 用地買収面積	イ 道路改良延長
単位: m	単位: m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
須屋線道路	⇒ ア 全改良延長
	⇒ イ
単位: m	単位: m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
道路を拡幅し、車道と歩道を分離することにより安全・快適に通行できるようにする。	⇒ ア 整備率
	⇒ イ
	単位: %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	m ²	1270	4043	1749	1313	1486	0	
	イ	m	0	0	280	298	560	160	
⑤ 対象指標	ア	m	1000	1000	1000	1000	1000	1000	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	0	0	28	29	84	100	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円	69,300	163,053	162,547	102,089	124,300	23,100
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	53,800	126,700	143,100	79,353	96,600	18,000
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	2,900	6,707	15,389	4,176	5,100	900
	(A) 事業費計	千円	126,000	296,460	321,036	185,618	226,000	42,000	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円	20	65	50				
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	11	6	7	4	4
延べ業務時間		時間	1,920	3,284	3,000	2,200	1,000	1,000	
(B)人件費計		千円	7,622	13,136	11,940	8,756	3,980	3,980	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	133,622	309,596	332,976	194,374	229,980	45,980	0

総トータルコスト 全体計画	17 ~ 23 年度	490,600
(期間限定複数年度のみ記載)		397,900
		28,996
		917,496
		135
		11
		10,324
		41,090
		958,586

合志市

事務事業名	須屋線交通安全施設整備事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 成果は事業が完了しないと発揮できないが、現在、測量設計が完了している。これからは、事業最終年度完了を目標に、用地買収・改良工事を進めていく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト削減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているので余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策